

令和4年度 運輸安全マネジメント内部監査報告書

兵庫県尼崎市水堂町4丁目20番16号

イワサバス株式会社

内部監査員 中尾 靖

1. 内部監査実施対象

(1)本社営業所

(2)経営管理部門 経営トップ、安全統括管理者、運行管理者(営業所長・統括運行管理者)

2. 重点監査項目

(1)本社営業所

適切に運行管理が行われているか確認するとともに、輸送の安全に関する文書、記録等のほか運輸安全マネジメントに関する項目確実に周知されているか監査する。

(2)経営管理部門

①経営トップ

経営トップが、輸送の安全の確保のため、関係法令の遵守、安全方針、安全重点施策の策定等に積極的に関与するなど、安全管理体制の構築、改善にリーダーシップを発揮しているか監査する。

②安全統括管理者

安全管理体制の課題や問題点を的確に把握する立場から、安全重点施策の進捗状況、事故等の発生状況、安全管理体制の改善の必要性等を経営トップに適宜、報告又は意見具申しているか監査する。

③運行管理者

現場の責任者として、運輸安全マネジメントの内容を乗務員に理解・実行させる努力を行っているか、また他の運行管理者・補助者への指導を行っているか監査する。

3. 内部監査結果

(1)本社営業所

①監査日 令和5年4月15日～30日

②監査員 中尾 靖 内部監査員

③監査方法 監査対象の関係書類の確認

④総評

必要な帳票類は、営業所内に保管され、周知事項は掲示されていることが確認できた。

緊急時対応マニュアルが、事務職員及び各車両に配備されており、各社員の対応力の統一化を目指していることが確認された。

社員への研修も定期的の実施しており、ドライブレコーダー映像を用いた個別の指導を実施していることが確認された。

⑤是正勧告

・目標数値を掲げているが、途中経過が乗務員に周知されていないこともあり、年度中の目標に対する定期的な動機付けが実施されていることが確認できなかった。

→次年度は、周知の方法を掲示するなどし、目標を達成できていない場合には、乗務員の士気を下げないようにするよう勧告する。

(2)経営管理部門

①監査日 令和5年5月1日～5日

②監査員 中尾 靖 内部監査員

③被監査者 経営トップ(岩佐雅史社長)、安全統括管理者(岩佐雅央専務)
統括運行管理者(安田竜雄)

④監査方法 アンケート回答に基づき、個別面談調査

⑤重点監査項目

経営トップ…安全管理体制の構築・改善にリーダーシップを発揮しているか

安全統括管理者…経営トップに適宜、報告又は意見等を具申しているか

統括運行管理者…運輸安全マネジメントを実施するために必要な措置を実践しているか

⑥総評

トップ自ら、事故対策会議に参加しているため、事故の原因は基本的動作の徹底が欠如していると分析しており、研修にその内容を組み込むことを指示していくべきである。

今年度の事故のうち、3件が誘導付きの事故であったことを懸念しており誘導の重要性を再認識しており、これも研修内容に組み込む指示をするべきである。

安全統括管理者は、経営トップとの連絡を密にし、特に重要と考えられるものは文書化し回覧する等の措置をとっている。

また、乗務員の心理的要因も重要視しており、乗務員とのコミュニケーションをはかり経営トップ、統括運行管理者との情報共有を図るべきである。

統括運行管理者は、バック事故の減少が乗務員の危険認知度の向上と分析している。
これはKYT研修の過去の回答を比較しフィードバックしている成果と認識している。

⑦改善目標及び是正勧告

経営トップ、安全統括管理者、統括運行管理者とも、従来の研修に加え、社内独自の課題を認識しており、それぞれの意見を早急に研修に取り入れていくことが課題である。

具体的には、

①ヒヤリハット情報の乗務員へのフィードバックの強化。

②乗務員自身が原因となるヒヤリハットの報告をしやすい社内環境づくり

③乗務員の心理的要因まで踏み込んだ事故分析。




④雪道研修の実施による乗務員の技量向上。

4. 総合的所見

常に安全対策構築に対する思いを強く持つておられることが確認できました。

事故防止に対する課題が明確化されており、さらに一歩進める道筋が見えています。

課題を研修に取り入れ、昨年度より充実した研修を実施し事故件数減少に取り組まれることを望みます。

承認	確認	確認	作成
令和5年 6月 11日 経営トップ	令和5年 6月 11日 安全統括管理者	令和5年 6月 11日 統括運行管理者	令和5年 6月 10日 内部監査官
岩佐 雅史 	岩佐 雅央 	安田 竜雄 	中尾 靖 